

運動部及び文化部活動の地域移行に向けた実証事業

『最終報告』

令和6年3月5日



砺波市教育委員会生涯学習・スポーツ課
スポーツ振興係 係長 川田 省吾

●概要

中学生がスポーツ・文化活動に継続して取り組める機会を確保するため、すべての部活動において「地域クラブ」の確立を目指す。

競技・文化団体をはじめ、中学校、PTAなどへの説明会を土日夜間等日程を問わず何度も開催することにより、一定の理解を得ることができた。

また、入学説明会において新中1(現小6)への説明も実施した。

市教育委員会に「地域クラブ登録申請書」及び「地域クラブ指導者登録申請書」を提出してもらうことにより、地域クラブまた指導者として活動していることを明確にした。

なお、両申請書とも競技・文化団体の承認を必須とした。

●成果

◇中学校数、部活動数及び地域クラブ移行数

- ・ 4 中学校（出町、庄西、般若、庄川）

令和6年2月19日現在

	運動部	文化部	計
出 町	15 (12)	6 (2)	21 (14)
庄 西	15 (9)	4 (0)	19 (9)
般 若	4 (5)	2 (1)	6 (6)
庄 川	5 (3)	2 (1)	7 (4)
計	39 (29)	14 (4)	53 (33)

※ () 内が地域クラブ数、特設部活動除く

※休日の活動を必要としない部活動は移行しない

●課題

- ①地域クラブの運営（受益者負担増）
- ②指導者不足（特に文化部活動）
- ③日常的な活動場所の確保、また冬期及び雨天時の屋外競技の活動場所の確保
など

●課題解決に向けて

- ①地域クラブが持続的に活動するための補助制度を設立するとともに、生活困窮世帯への支援制度も設立する。
- ②競技、文化団体と協同して、人材育成及び発掘に努める。
- ③学校施設、社会教育・体育施設等を優先して利用できる環境を整備する。
など